



「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた

授業の様子をお伝えします！

4年生算数 単元名：角の大きさの表し方を調べよう

本時のめあて：180° よりも大きい角が分度器一つで求められるかを考えてみよう

○本時に必要な見方・考え方を働かせる工夫

▶ 既習の確認

ICTを使って0° から360° までの角を動的に捉えさせ、90°、180°、270°、360° と既習の角を確認しました。

知ってる角になったら教えて

▶ 児童とのやり取りを通しためあての設定

今までの分度器の測り方では求めることが難しいことに気付かせました。

分度器一つで測れると思う？

であう

○個の追究から全体で共有

▶ 児童

ワークシートに分度器を置いて、知っている角度をもとに、どうやったら測れるか考えました。

分度器の向きは...

▶ 教師

バイシンクで学習状況を見取り、つまずいている児童に対して個別に支援しました。全体共有では大型モニターで複数の考え方を提示し、児童に問い返しながら理解の確認をしました。

ここに線を引くといいね！

式の30ってどこの角のこと？

追究する

○ペアで伝え合い理解の深化

▶ 適用問題→求め方をペアで伝え合い

児童はタブレットを用いて、角に色を付けたり式を書いたりしながら説明していました。

色を使うとわかりやすいね！

つかう

【先生方の授業研究会の様子】

1時間を通して、ICTを活用した授業でしたが、どの場面で、どのように使うとよいのかが話題となりました。授業改善とともにICT活用の期待もふくらみました。

